

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月10日

事業所名 キッズステーション☆長浜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	グループに分かれて活動をしたり、机などの配置を工夫している。	支援員の目が行き届くような空間づくり、活動のグループ分けをしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		送迎等で職員の数が手薄になるときがあるが、送迎の順番や時間帯を保護者と相談して変更している。	今後も指定基準に基づき、職員を配置していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	介助が必要な利用者には職員が介助を行っている。	今後段差や手すりに関して設置を検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		利用者の最近の状況や留意事項を毎日職員全員で確認している。	パート職員の参加が難しい時もあるが、出勤時刻を早めて多くの職員が参加できるように努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者から直接頂いた意見を取り入れ、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	昨年度より、自己評価結果を保護者全員に配布している。	ホームページは開設に向けて現在準備中で自己評価結果を記載する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	特別支援学校の担任と支援の在り方を協議した。	今後も、必要に応じて関係機関に見てもらい機会を増やしていきます。また、別の事業所のスタッフに見てもらい機会を増やしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		1ヶ月に1回内部研修を行っている。また、随時相談や話し合いの場を設けている。	外部の研修会にも積極的に参加して、その内容を全職員に共有します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者及び本人の要望を聞き取り、事業所での様子を踏まえ、スモールステップで達成できる目標を設定し作成している。	中間報告や達成の状況など、保護者様と確認を行いながら今後も計画の作成に取り組みます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			共通のアセスメントツールを使用し、利用者の状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれ職員の得意分野を生かし、チームで活動プログラムを立案している。	職員全員で一人ひとりの特性や支援目標について共通理解を持ち、活動プログラムの作成をしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			繰り返し行うことで効果が期待される活動は毎回行っています。活動内容に偏りが無いよう見直しと話し合いを行います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者の意見を多く取り入れて、活動内容を決めている。	季節に合わせた芸術活動、イベントを考えプログラムを考えています。様々な経験ができるよう、きめ細やかな計画を立てています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別と集団で身に付けてほしい力を考え、保護者や利用者のニーズに合わせて計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			土曜、祝日は送迎の為、来所前に打ち合わせができない職員もいますが、活動前には必ず打ち合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			送迎の職員もいる為、支援終了の当日に振り返りを行えない場合もありますが、翌日以降に振り返りや、気づいた点、改善点など話し合い共有しています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の情報をもとに、支援の検証や個別支援計画の作成に使用しています。感想ではなく、事実の記録を徹底し指導改善に繋がるようにしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	常時保護者からご意見をいただけるよう、努めている。	6ヶ月に1回は面談や話し合いをし、計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		自立支援、創作活動、余暇の提供をベースとして支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には毎回参加するよう心がけています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	担任の先生とできる限り情報を共有するようにしている。	行事や送迎時間だけでなく学校での様子や行動、トラブルなどの情報も共有し連携が取れるように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、医療的ケアが必要な利用者はありません。今後対象となる利用者がありましたら、主治医と連絡体制を整えて、支援します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者、相談員からの情報のみです。今後必要があれば、こちらから連絡を取り、情報共有等努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在対象者はいません。今後対象者が現れた場合は情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修会の日程が送迎時刻などと重なったりしてあまり参加できておりません。今後も研修情報を確認し、可能な限り参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		他の児童クラブとの交流は今のところありません。保護者様の意見も取り入れながら、今後検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		今年度は開催時刻が送迎時刻と重なるなど、参加することができませんでした。送迎のやりくりをして参加体制がとれないか検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時になるべく保護者様とお話するよう心がけている。	送迎時や電話だけでなく、支援計画の更新時など計画的に時間を設けて共通理解を計っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者が集団で集まる機会がなく実施できていないのが現状です。保護者が集まる機会があれば実施していきたいと思います。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしていますが、不明な点がある場合は問い合わせいただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		お困りごとや相談などはその都度ご連絡をいただきましたら対応させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		希望される方がいままので、保護者会等の開催は今のところ考えていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		今後も苦情発生のないよう努めて参りますが、発生した場合は迅速に対応、改善を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1度通信を配布しています。保護者からこんな情報が欲しい等のご要望がありましたら掲載していきたいと思っています。

寺	35	個人情報に十分注意している	○			文書庫は必ず施錠し、廃棄の場合はシュレッター処理するなど、今後も十分に気をつけ管理を行います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			今後も利用者、保護者に合わせた配慮を行い、コミュニケーションを取っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民の招待は現在行っていません。今後発表会などの行事を開く時に必要であれば検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			わかりやす形で保護者様に周知できるよう工夫します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			計画的に避難訓練を実施するとともに訓練の様子を広報で知らせていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止のためのミーティングは定期的に行い、利用者との関わり方等で困っていることはないか、その都度確認しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現状、該当する事例がないので、説明、記載等はありません。必要性が出てきた場合は、保護者の了解を得て支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		提供するおやつ <sup>の</sup> 成分確認を複数の職員で行っている。	食物アレルギーには細心の注意を払い、誤食がないように徹底します。そのアレルギー症状がある利用者に関しては、契約時に確認を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例があった場合、直ちに職員へ周知し、今後の対策など話し合っている。	事例集を作成し、職員間で共有し、再発防止に取り組んでいます。